

テーマ	リーダー力を鍛えよう
テーマ 設定理由	リーダーに求められることや大切なこととは何、 と考えたとき、まとめること、行動力、責任感、などが 挙げられた それらの項目をまとめて、リーダーになるための力をこ の研究大会で身につけたいと思ったから。

◆期日

平成30年10月6日(土)～10月8日(月)

◆場所

ネイパル森（北海道）



◆参加対象

北海道・東北各県のリーダー 4名

北海道・東北各県のリーダー育成担当の若手指導者

参加枠を超えての申し込み可

◆参加者

北海道	リーダー	4名	指導者	1名
岩手県		2名		1名
宮城県		3名		1名
秋田県		5名		1名
山形県		3名		0名
福島県		4名		2名
運営指導者・事務局			8名(北海道)	



◆経費 参加費無料 交通費補助

令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会 ブロック研究大会ポスター報告会 北海道・東北ブロック（担当：北海道リーダー代表者 甲谷 一乃）

◆日程

平成30年度第22回北海道・東北ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会日程

平成30年度第22回北海道・東北ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会日程					
(会場：ネイパル森 北海道茅部郡森町駒ヶ岳657-15)					
期日	10月6日(土)	期日	10月7日(日)	期日	10月8日(月・祝)
時間		時間		時間	
		6:30	起床・準備	6:30	起床・準備
		7:00	朝の集い 【体育館】	7:00	朝の集い 【体育館】
		7:30	朝食	7:30	朝食
		8:30	D講習② 「リーダー」から学ぶこと 【大研修室】	8:30	荷物整理
				9:00	Gディスカッション② 各道県目標設定 報告書作成 【大研修室】
		9:30	E活動①-1 スポーツ指導実践 ～プログラム作成～ 【大研修室】		
				11:00	閉会式
				11:30	解散
		12:00	昼食		
		13:00	E活動①-2 スポーツ指導実践 【体育館】		
13:30	参加者バス到着予定				
14:00	受付	14:00	E活動② スポーツ指導実践 ～プログラム実践～ 【体育館】		
15:00	開会式				
15:30	A自己紹介・活動報告 【体育館】				
16:30	Bスポーツ活動 【体育館】	16:30	E活動③反省・評価 【体育館】		
		17:30	Fディスカッション①-1 【体育館】		
18:00	夕食	18:00	夕食		
19:00	C講習 ① プレゼンワーク 【体育館】	19:00	Fディスカッション①-2 ～現状と今後を考える～ 【体育館】		
20:30	入浴・自由時間	20:30	入浴・自由時間		
22:00	消灯・就寝	22:00	消灯・就寝		

令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
ブロック研究大会ポスター報告会
北海道・東北ブロック（担当：北海道リーダー代表者 甲谷 一乃）

- A 自己紹介・活動報告
- B スポーツ活動
- C 講習1 プレゼンワーク
- D 講習2 「リーダー」から学ぶこと
- E 活動1 スポーツ指導実践 プログラム実践
- F ディスカッション～現状と今後を考える～
- G ディスカッション～各道県目標報告書～

D リーダーから学ぶこと

指導者が考えるリーダー像とは何か、
今のリーダー達へ伝えたいこと、
現役のリーダーが聞いてみたいこと、不安に思うこと
これからの北海道・東北ブロックを盛り上げていくために
必要なこと…など
全員で円になり話し合いの場を設けた

→ 各道県の悩み、個人の悩み、気になっていたことなど
全員で共通の話題について話し合うことで情報交換をすることが
できた

令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
ブロック研究大会ポスター報告会
北海道・東北ブロック（担当：北海道リーダー代表者 甲谷 一乃）



令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会

ブロック研究大会ポスター報告会

北海道・東北ブロック（担当：北海道リーダー代表者 甲谷 一乃）

E スポーツ指導実践 プログラム作成・実践

リーダー研修等での初対面の小学生向けのスポーツプログラムを作成

* 実践はスポーツ活動につなげるための導入部分のみ

スポーツ	対象
バスケット	低学年
バスケット	高学年
サッカー	低学年
サッカー	高学年
1班 5～6人	× 4班

午前で指導案作成 午後から体育館で実践・発表

令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
ブロック研究大会ポスター報告会
北海道・東北ブロック（担当：北海道リーダー代表者 甲谷 一乃）



F ディスカッション

～現状と今を考える～

①各道県に分かれて話し合う

（活動状況、課題の洗い出し、悩み等確認）

②スポーツ実践の時の班で情報を持ち寄りさらに話し合う

（各道県の悩み、取組み等共有 他県のためにできることとは）

～各同県目標設定～

1日目のディスカッションを元に来年度の研究大会までにできること
やることをピックアップ

また、今回のテーマ リーダー力を鍛えるため にできること
やることをそれぞれ各道県で話し合い全体で発表

令和元年度全国スポーツ少年団リーダー連絡会
ブロック研究大会ポスター報告会
北海道・東北ブロック（担当：北海道リーダー代表者 甲谷 一乃）



◆大会を開催した成果、反省、課題

成果

「各道県の悩み、不安、積極的に行ってることなどを共有しあって情報交換ができた。

研究大会以降の目標、取り組んでいくことを明確にできた

今回のプログラムを通してリーダー自立のための一歩になることを学ぶことができた

今回のテーマである「～リーダー力を鍛えよう～」を達成しようと個々人が積極的に活動に取り組めた」

反省

「最後、研究大会テーマについてまとめる際に全員のテーマのとらえ方が違っていて混乱があった

」

これからの課題

- ・ 東北ブロック研究大会を日独交流くらい楽しめる会にする
- ・ 過去のプログラムを活用して今のリーダーにあったプログラムを作成する
- ・ 文集や動画を使って、今回参加できなかったメンバーやこれから入会する予定の中高校生へ研究内容を伝える

○北海道リーダー会としてできること

→リーダー自立のための一歩としてリーダーで役割分担をしてできることを増やす

毎月開催の定例会出席率を上げる

リーダー間の交流を今以上に増やす

◆昨年度の全国リーダー連絡会で協議・検討したことがどれくらい生かされたか

全国のリーダー会の情報を共有することで次回以降の研究大会の発展へ大きく繋げることができた。